

REPORT

## 1 岐阜駅前～岐阜公園エリア 「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指す岐阜市

岐阜市では、駅周辺エリア、柳ヶ瀬エリア、つかさのまちエリア、岐阜公園エリアの4つのエリアをつなぐ一帯を「センターゾーン」と名付け、市街地再開発なども含めた官民連携による施策を展開しています。

中心市街地の道路空間を活きた空間、魅力的な空間として活用できるように「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指しており、岐阜市センターゾーンにおける道路空間の将来イメージをまとめた冊子が令和5年4月に公表されました。

また、今年の秋から冬にかけて、金華橋通りや長良橋通りの名鉄岐阜駅前での実証実験が予定されています。こうした社会実験を行いながら今後も引き続き、市民の皆さんと一緒に検討が進められていきます。

※「ほこみち」…国土交通省が創設した「歩行者利便増進道路制度」のこと。賑わいのある道路の構築のための道路の指定制度です。



個性豊かな4つのエリア



交流の場、イベントの場、公共交通や新型モビリティが共存するイメージの「金華橋通り」



公園のような道路空間をイメージした「柳ヶ瀬エリア」



ほこみち制度を活用し、沿道店舗と道路が一体となった道路空間をイメージした「長良橋通り」



無電柱化、緑豊かで歩きやすい空間をイメージした「玉宮通り」

REPORT

## 2 プラスチック分別でゴミ焼却量が減少 ゼロカーボンシティを目指しましょう

令和4年4月から岐阜市でプラスチック製容器包装(プラ容器)の分別収集が開始されたことにより、普通ゴミの収集量と焼却量が減少しました。プラ容器を資源化することで、ライフスタイルの脱炭素化を促進させることができています。

また、岐阜市は令和5年5月18日に「岐阜市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。岐阜市は国や岐阜県と比べ、民生家庭部門や運輸部門からの二酸化炭素の排出量の割合が高い市です。そのため、私たちの日常生活における省エネ行動が大切になります。ゼロカーボンを目指して、今から脱炭素化に取り組んでいきましょう。

### 岐阜市のプラスチックごみ 昨年度比較

◇プラスチック製容器包装の収集量(R4年度)…4,793トン

◇一般家庭から排出された普通ゴミの収集量

R3年度 75,788トン → R4年度 66,453トン

-9,335トン  
12.3%の減少

※ゼロカーボンシティ…2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨とする地方自治体のことです。

### 【岐阜市リサイクルセンター(岐阜市木田)】

ビン、カン、ペットボトル、プラスチック製容器包装をリサイクルするために、選別や梱包をする施設です。見学も可能で、小学生の環境学習の場ともなっています。私も視察をしました。



### 【岐阜市ゼロカーボンシティ宣言】

「岐阜市ゼロカーボンシティ宣言」を表明した「市脱炭素社会推進シンポジウム」では、日頃の環境活動などの発表や意見交換パネルディスカッションも行われました。



REPORT

## 3 オール岐阜で打ち上げる「ぎふ長良川花火大会」8月11日(金・祝)開催決定

コロナ禍の影響により、令和2年から開催が見送られてきた長良川の花火大会が、令和5年に再開します。これまで花火大会を主催してきた岐阜新聞社と中日新聞社に岐阜市と岐阜商工会議所が加わり、新たに「ぎふ長良川花火大会」として開催し、みんなで力を合わせて作り上げる大会になります。

第1回のテーマ「平和に願いを込めて」には、戦後復興と平和への願いという開始当初の原点に立ち返るとともに、花火によって未来への希望をもたらしていきましょう、という思いが込められています。伝統を引き継ぎながら、新しい試みにも挑戦することで、未来に残る花火大会になることが期待されています。



### 大会開催のポイント

- ◎長良川右岸に有料の花火応援席を設け、安全・快適、ゆっくり鑑賞することができますようになります(無くなり次第終了)。
- ◎応援席のうち自由席の方には、段ボール椅子が配布されます。
- ◎音楽に合わせたストーリー仕立ての演出をします。
- ◎キッチンカーなどが出店するフードエリアが設置されます。